

新緑の会NEWS

Shinryoku

SHINRYOKU NO KAI

2025年 誠実と実行 ~私たちにできること~

Integrity and Execution in 2025

問い合わせ先

自由民主党 新緑の会

〒400-8510
甲府市丸の内1-6-1 山梨県議会内
TEL 055-223-1805
FAX 055-223-1831

ご挨拶
与えられた任期の折り返し地点を迎えました。これまで何ができたのか。これから何をしていくべきか。県民の皆様を思いを馳せる毎日です。
あるコラムで、「良い社会ってなんだろう?」「それは一番弱い人間でも幸せでいられる社会」という一文がありました。妙に納得できました。そして、「がんばった人は報われる。がんばれなかった人も幸せ」と続きました。そんな理想的な社会になればいいと心から思いました。
少しでも理想に近づけるように、本年も自由民主党新緑の会をよろしくお願ひ申しあげます。

Shinryoku no Kai Greetings

即行動！即勉強！

That's action! That's reluctance!

「課題は現場にあり!」

県内課題を解決していくには、全国の先進事例を学ぶことも大切です。我が会派では熊本県に出向き、さまざまな事業を学ばせていただきました。良い社会の実現に向け、今後の活動に尚一層尽力してまいります。

2024
5.16

2024
5.16

「半導体実技 総合大学校を訪ねて」

熊本県(水俣市)



半導体は、自動車や公共交通機関、医療機器、ATM等、現代では欠かすことのできない社会インフラに活用されており、その需要はひっ迫しています。しかし、日本では今後10年で4万人もの半導体人材が不足すると懸念されています。

研修に訪れた熊本県の株式会社アスカインデックスは、産官学が連携し人材育成を目的とした半導体実技総合大学校を運営しています。大学校では、実際の半導体製造に使用される設備を利用した、より実践的な研修を受けることができる他、スキルアップを目指す社会人や資格、単位の取得を目的とした学生も利用でき、若年層の進路決定に大きく寄与しています。ここでは、会派として今後どのように本県の課題に取り組むのかを学びました。

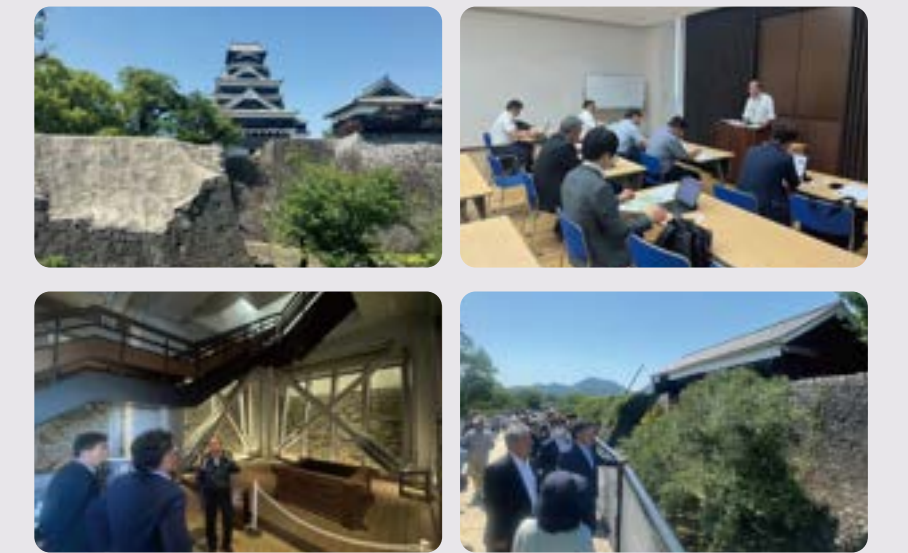
「熊本城の 復興事業を学ぶ」

熊本県(熊本市)

2016年4月14日に震度7を観測した熊本地震。熊本城の重要文化財建造物13棟のすべてが被災しました。この地震で最も大きく被害を受けたのは石垣で、その被害総額は634億円に上ったといえます。

熊本市は、2018年3月に熊本城復旧基本計画を策定し、計画期間は見直しを含めて35年になりました。現在、復興のシンボルである天守閣は再建したものの周辺はまだ復旧されていない状況です。

復興事業の執行予算は、約196億円。20年閉館せずに復興状況を「見せる観光施策」とし、ペDESTリアンデッキ等の特別観光ルートを設置することで、近年は100万人を超える来場者数を誇っています。会派では、復興状況を観光に繋げる事業について学ぶため現地を訪ねました。



政治をもっと身近に!!

フジテレビによる元タレントの中居正広氏への性接待問題。すべてが事実だとしたら前代未聞であり、女性蔑視の最たる事案と言えます。また、真実を正確かつ丁寧に伝えることを旨とする報道機関が驚くほどの隠ぺい体質。これでは報道不信につながりかねません。現場の記者がかわいそうです。

このことは政治とカネの問題と重なります。これ以上の政治不信を招かぬよう、私たちは襟を正して歩んで参ります。

山梨県議会
インターネット中継



本会議は、インターネット中継でも見ることができます。

<https://yamanashi-pref.stream.jfit.co.jp>

06



伊藤 毅



1期 51歳

選挙区：甲斐市
所属委員会：総務委員会 委員長
政治信条：市民・県民とともに、明るい未来を創る

市民・県民とともに、
明るい未来を創りたい
2025年の干支は、乙巳(きのとみ)です。60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。私自身これまで、政治信条である、市民・県民とともに、明るい未来を創りたいという、熱い思いを持ち活動して参りました。そして、こうした思いを実現させるため、堅固な、県・市のパイプ役を担い、様々な課題解決に向けて果敢に挑戦して参りました。そういったことを一つでも実現し安定を創ることができる年にしたいです。今年も、真に市民・県民の視点に立った、心厚く優しさあふれる分かりやすい政治を誠実に進めて参ります。

08



渡辺 大喜



1期 37歳

選挙区：富士吉田市
所属委員会：農政産業観光委員会 副委員長
政治信条：若者が夢と希望をもてる政治

超高齢化社会を
どう生きるか
今年は何れの団塊世代が75歳以上となり、国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎え、今まで以上に介護や看護の需要が逼迫されることが懸念される。県では令和8年度に介護待機者をゼロにする目標を掲げ、ショートステイの特養への転換など様々な対策を行っているが、現場の人手不足は非常に深刻である。現在でもICT技術やDX、介護ロボットの活用促進を図っているが、外国人材の活用を積極的に進める必要がある。歴史的な甲斐で日本の労働市場の魅力が落ちている中、労働環境や生活環境を整備し、外国人労働者の生活の質を上げることで賃金以外の魅力を創ることが重要となる。

05



小沢 栄一



1期 60歳

選挙区：韮崎市
所属委員会：土木森林環境委員会
政治信条：責任・行動

防災・減災力の向上と
交通環境の整備
発生の切迫性が指摘されており、ます東海地震により、家屋倒壊・液状化・斜面崩壊・火災等による被害が見込まれているため、県土の強靱化に力を尽くしてまいります。私の選挙区の韮崎市は釜無川や塩川その他多くの河川があり、台風等による河川氾濫や土石流の発生が予測されているため、河川砂防の強化、道路インフラ・上下水道等のライフラインの整備を推し進めてまいります。また韮崎市内の通勤・通学時の渋滞緩和、児童・生徒が安全に登下校できるための新たな道路の開設や現状の道路幅整備等の交通環境の向上に努めてまいります。

07



望月 大輔



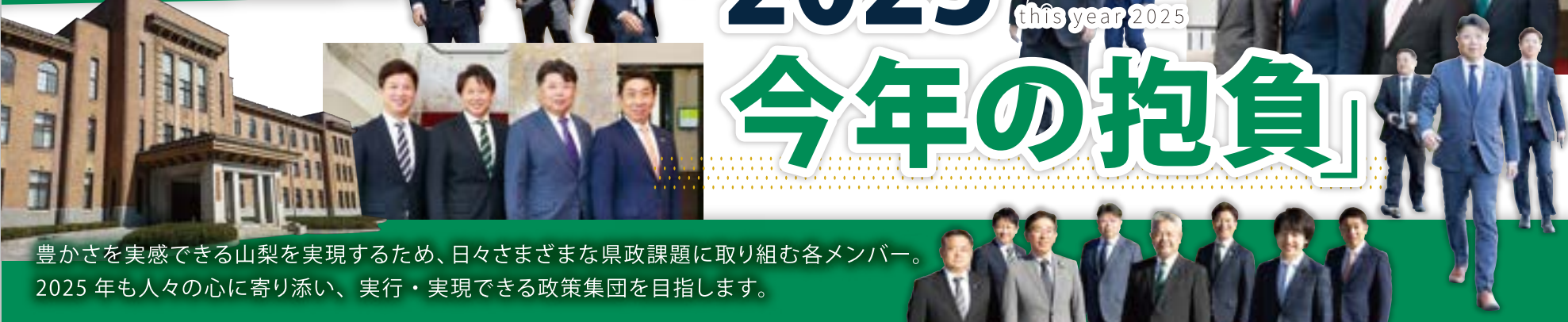
1期 43歳

選挙区：甲府市
所属委員会：教育厚生委員会 副委員長
政治信条：山梨をつなごう!
～まちをつなぎ、人をつなぎ、想いをつなぐ。～

引き続き、「現場の声」、
「暮らしの声」を原点に！
おかげ様で県議会議員として2年、子育て世代の声や地場産業の現状、認知症対策、観光振興など、多くの「声」をいただきながら、政策に変え、提言を行ってまいりました。これまでの取り組みを検証し、さらに加速と変化を加えながら、山梨県に関わる全ての方々が豊かさを実感できる取り組みを進めてまいりたいと考えます。それぞれの価値観の中で、それぞれの豊かさを追求できる山梨県創りのために1年間、駆け抜けてまいります！

新緑の会

メンバー8人による



「2025 今年の抱負」

Aspirations for this year 2025

豊かさを実感できる山梨を実現するため、日々さまざまな県政課題に取り組む各メンバー。2025年も人々の心に寄り添い、実行・実現できる政策集団を目指します。

02



白井 友基



2期 48歳

選挙区：甲府市
所属委員会：総務委員会
政治信条：地道に謙虚に丁寧に

挑む県議会へ
昨年10月に副議長に選任いただきました。多くの先輩・同僚議員に改めて感謝申しあげます。本年も議長のサポート役として『公平公正な議会運営』、そして『二元代表制の一翼を担う議会としての『合意形成』、あわせて県民の皆様への『丁寧な情報発信』に努めたいと思います。

04



長澤 健



2期 58歳

選挙区：西八代郡・南巨摩郡
所属委員会：農政産業観光委員会 委員長
政治信条：初心忘るべからず

峡南地域は俺が守る
これまで県民に寄り添った政治を目指し、政治スロガン「峡南をつなぐ」のもと、ふるさと峡南地域の声を県政につないできました。昨年1月1日の新年早々に発生した能登半島地震をはじめ、近年、大規模な自然災害が頻発しています。自然災害の前では人間の無力さを痛感せざるを得ません。私の住む峡南地域は、険しい地形が多く過疎が進んでいるため、いざ災害に見舞われたことを想定し、今から不安を払しょくしなければなりません。そのためインフラ整備、地域を守る消防団ならびに資材の確保など、これまでも取り組んできましたが、あらためて今年度は、国土強靱化の防災面にも尽力していく所存です。消防団、建設業の経験を活かします。いざとなったら、私も重機に乗って災害復旧の現場に向向く覚悟です。皆さんも、今から自助、共助の対策に取り組みしましょう。

01



流石 恭史



2期 65歳

選挙区：南都留郡
所属委員会：教育厚生委員会
政治信条：和して同ぜず

2025年は「幸せ」に
ついて考え、取り組む。
今年、「幸せになるとは、どういう事なのか考えた」と思っています。富士五湖の皆さんの「幸せ」とは、また、人は何のために生きるのか？どんな行動をとったら良いのか？を考えると、勉学、仕事、健康、より良い生活を得て生活を得て「幸せ」をつかみ取るためだと思えます。全ての行動は「幸せ」に行き着くと考えています。山梨県も、リニア新幹線開業、水素の普及、山梨県果樹等輸出、少人数教育、他の県がうらやむ事ばかり。みんな「幸せ」につながるのです。明日の山梨県を「幸せ」にする事が我々の仕事です。

03



桐原 正仁



2期 52歳

選挙区：甲州市
所属委員会：土木森林環境委員会 委員長
政治信条：至誠通天

山梨の発展と
県民の幸福を目指す
新年を迎え、大きな時代の転換期にあるという想いとともに、山梨県の未来に向けて決意を新たにしました。これまでの取り組みも含め、地域の活性化と持続可能な社会の実現を目指し、観光資源の魅力向上、農業振興、ワイン振興に、また少子高齢化や人口減少といった重大な課題がある中で、若い世代が山梨で暮らしやすい環境を整える政策を推進します。県民の皆様の声を真剣に受け止め、信頼される議会運営に努めるとともに、防災・減災の強化や地球温暖化への対応など、未来を見据えた取り組みを推進します。山梨の発展と県民の幸福のために、誠心誠意取り組みます。

予算なくして 県民の幸せなし！

山梨県の年間予算の半分以上は国に依存しています。ということは、国からそれなりの予算が配分されないと、県民のための事業や取り組みに支障がでる可能性があるということです。そこで私たち新緑の会は、国から交付されるメイン財源である「地方交付税」を学ぶべく財務省・総務省を訪ねてきました。複雑難解なルールのため、直ちにすべて理解することはできませんでしたが、『予算なくして県民の幸せなし』という強い覚悟で今後も財源への理解を深めていきたいと思えます。この勉強の機会をつくってくださった長崎幸太郎知事に感謝申し上げます。

